

心理・文化学科では毎年公務員の合格者を輩出しています。  
今年度はTさんとSさんと2名の声をお届けします。

【Tさん(福岡県八幡高校出身)】

合格おめでとうございます。今回公務員に合格されたということでインタビューをお願いします。

まず合格されたのはどちらですか？

(Tさん)ありがとうございます。合格したのは福岡県中間市の一般事務職です。

公務員を目指したのはいつからですか？

(Tさん)大学入学当初からなりたいと思っていましたが、2年生くらいまでは特に動き始めるということはなく本格的に勉強を始めたのは3年生の春からです。

どんなふうに勉強に取り組んでいましたか。たいへんだったことはありましたか？

(Tさん)わたしは結構コツコツとするタイプでしたから継続的に進めていました。それでも模試などで思ったほど点が取れなかったりすると、やる気が下がってすこし勉強に力が入らなくなってしまうことがありました。そんなときは好きな科目に集中するなどしてモチベーションを維持しながら取り組みました。

大学での活動や勉強で役に立ったことを教えてください

(Tさん) 面接対策では担当の先生に指導していただきました。指導等を通じて自分なりに面接用にノートを作って面接対策をしていたのですが、このノートは面接のときに役に立ちました。それから、情報系の授業の単位を多く取っていたので、DX化などへの対応が可能だということはアピールできました。あとは、私は司書課程を取っていますが、そこで実施しているビブリコットというグループでの図書館に関する活動や私が所属している吹奏楽部で地域と関わった活動も面接に役立ったと思います。

【Sさん(福岡県ありあけ新世高校出身)】

合格おめでとうございます。まず、合格されたいまのお気持ちと、どのような業種に合格されたのかを教えてくださいませんか？

(Sさん) ありがとうございます。私が合格したのは熊本県の学校図書館事務です。学校図書館事務は主に県立学校の図書館と学校事務を行います。県立の図書館に配属される可能性もあるようですが、一般的には公立学校に配属されるようです。業種的には募集人数が1人とかで少ないので、ダメかもなっている気持ちがあったので、合格して本当に嬉しいです。

公務員の採用試験にむけてどのように取り組みましたか？

(Sさん) 3年生の夏休みの勉強会に参加して、問題をみんなで解いてといったことを週に3日くらいしていました。本当

に自分で始めたのは3年生の3月とか春休みくらいからです。周囲が就職活動していて、自分はみんなと違って公務員に絞っていたので、それで焦り始めて参考書を揃えたりして集中して取り組むようになったと思います。教養の試験対策と司書の専門試験対策をしました。ただ、私は志望を司書関連に絞っていたのである程度範囲を決めて勉強に取り組めたと思います。数学にも苦手意識はなかったのも良かったです。一方で面接は苦手だったので、自信をつけるまでに時間がかかりました。ですから、6月とかの試験が早い自治体は間に合わなくて勉強が足りなかったと思います。

苦手な面接にはどうやって取り組みましたか？

(Sさん) 面接はやっぱり日々の訓練です。そのなかで先生や友達に励ましてもらって最終的には自信をつけていけたのかなって思います。それから、私は司書課程での活動にずっと参加してたので、今までやってきたことをちゃんと話せれば大丈夫だからって信じていました。例えば大勢の人の前に立って司会をしたり、友人と情報共有しながらイベントを運営したりといった経験があったので、それは面接で話せました。

最後にこれから公務員試験を希望する人に向けてメッセージをお願いします。

(Sさん) 勉強会とか他の人も参加する機会を利用した方がいい

いかなって思います。一人でやるんじゃなくて、みんなで一緒にやるっていうのが。自分も頑張らなきゃっていう風に思えるし、なんかわからないところを教えあったりできるんで、あまり一人でやるよりはみんなでやった方がいいかなって思います。



合格されたおふたかたインタビューへのご協力をありがとうございました。おふたりのご活躍を期待します。